木谷小学校　コミュニティスクールだより　　令和６年７月４日発行　第 24 号

木谷の風

コミュニティ・スクール推進員　福田　みき

地域の方から学んだこと

【ホボロ島調査　　５年生　　７月３日（水）】

講師の先生に，自然探検専門家の古本敦子先生をお招きしました。自然保育アドバイザーの大村先生。地域から田阪三依さん，尾首豊さん。船を出してくださり昔のホボロ島の話をしてくださった増田さん，山平さん。学校からは教頭先生，緒方先生，舛本先生，福田のメンバーで現地学習を行いました。

学習のねらいは，２点です。

① 島の崩れる原因を調べる。【島の希少性を知り興味をもつ】
② 島に住む生き物について調べる。【島の自然の豊かさを知る】

15 人の子供たちは，一生懸命に学習に取り組みました。大きく分けて３つの内容を学びました。

１つ目は，鼻繰島の土質調査です。手で触ったり叩いたりしてみました。ガラスに使う石から出来ている砂浜は粒が大きくざらざらしていました。叩く音もはっきりと聞こえ硬さを感じました。

２つ目は，ホボロ島の土質と生き物調査です。鼻繰島と比較してとても柔らか

いことを実際に触って実感しました。歩くたびに崩れる岩場。大量のナナツバコツブムシ。驚くほど穴をあけたアパートみたいな石。そして，植物が全くない島。波うち際から島の周りを採集しながら歩き回りました。イカの卵やスナチャワンなど二馬手海岸ではみつけられなかった生き物を潮の加減でたくさんではありませんでしたが，確認することができました。

3つ目は，「謎の衝突痕」について古本先生から説明がありました。この何かが衝突した痕は，隕石の衝突か，爆弾か，落石か？さまざまな謎にワクワクしました。

今回も多くの皆様にお世話になりました。5年生のこれからの学びに活かしていきます。

ホボロ島は木谷の宝だとしみじみ思いました。
関わってくださったすべての皆様，本当にありがとうございました。